

基本情報

- ◆ 実施部局: 高等研究院 (iCeMS), 化学研究所
- ◆ 相手方機関: インド工科大学ルールキー校
- ◆ 設置(予定)時期: 2024(令和6)年10月
- ◆ 設置場所: 京都大学、インド工科大学ルールキー校
- ◆ 設置タイプ: クロスバウンド型
- ◆ 設置目的: 加齢関連疾患を理解し治療するためのインテリジェント医療ツールの開発
- ◆ 教育研究活動内容: 京都大学とインドのトップ研究機関との間で、優秀な学生と若手研究者の交換と教育を促進するハイブリッド(物理的・仮想的)ハブの設立

期待される波及効果

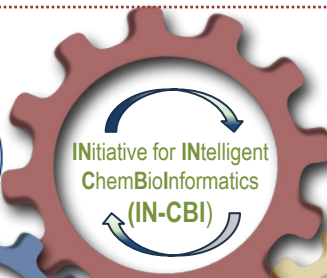
- ・インドのトップレベルの工学・医療ネットワークの活用による、京都大学の最先端技術の発展
- ・優秀な学生、若手研究者の交換による、国際社会に貢献する新しい世代の科学者の育成
- ・京都大学がインド人留学生にとって「最初の着地点」となる環境の構築

活動概要

オーダーメイド治療を視野に入れた、インテリジェント (=プログラマブル分子設計) ケミカルバイオロジーツールの開発の加速を目的とした、ハイブリッド(物理的、仮想的)クロスバウンド型オンサイトラボ

- 京都大学と IIT ネットワークのハブとして 研究交流、頭脳循環を促進

物理的 IITルールキー校 (3500 m²)とiCeMS (124 m²) によるスペースの提供・代表研究者のクロスアポイントメント・IITと京都大学による常駐研究者の配置



- ✓ 国境を越えた資金調達
- ✓ 持続可能なメカニズム
- ✓ ネットワークの拡大
- ✓ 地域振興への貢献
- ✓ アウトリーチ活動

- IITルールキー校の卓越したエンジニアリング技術と、京都大学の化学や細胞生物学分野での専門性と組み合わせることによる相乗効果で、加齢関連疾患の共同研究を加速

